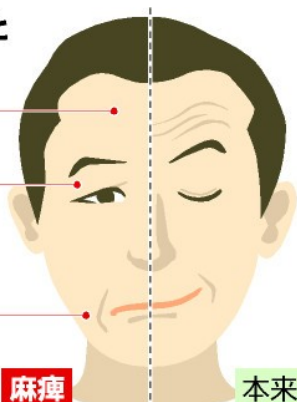


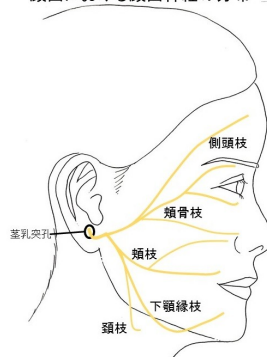
顔面神経麻痺の病気

顔面神経麻痺になると

- 額にしわが寄せられない
- 目が閉じられない
- 目にまぶたがかぶる
- 口角が下がり、動かない
- 口笛が吹けない



顔面における顔面神経の分布



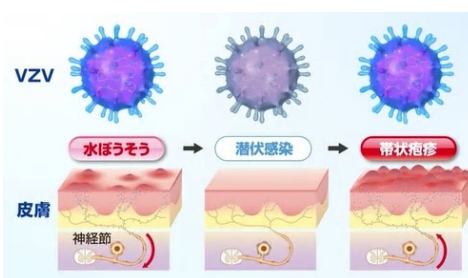
顔の末梢神経の障害では、ストレスやウイルス感染が疑われます。顔を動かす神経は、鼓膜の後ろから耳の中を通過して、顔に出てきます。

1) ベル麻痺（子供から大人までストレスが原因）

ストレスによる血流障害が、神経を弱らせるため、ステロイドや血流改善薬を内服します。近年、ウイルスの再活性化もひとつの原因と分かり、抗ウイルス薬も併用します。治療しなくても自然治癒が70%で、治療すれば90%完治と言われていますが、治らない10%に入ってはいけません。

2) ハント症候群（顔の帯状疱疹、年配者に多い）

顔の^{たいじょうほうしん}帯状疱疹が原因です。子供の頃にかかった^{みずぼうそう}水疱瘡のウイルスが神経に潜んでいて、老化して抵抗力が下がると何十年も経ってから暴れ出します。顔の麻痺とめまい難聴、痛い発疹の3つの症状がでます。顔の麻痺は治りが悪く、抗ウイルス薬とステロイドで治療しても、50%しか治りません。後遺



症も残ります。1日も早く治療を開始することが大切です。

3) 脳の疾患

めまい、手足のしびれ、意識障害など脳に関連する他の症状を伴います。MRI 検査で診断して内科での治療が必要です。

4) その他

こじれた中耳炎、耳下腺腫瘍でも顔面神経麻痺が生じます。CT や MRI 検査で診断します。